

富士市議会では、議会の取組や市の事業について、全国の自治体議会の行政視察を受け入れています。視察の際は、市内での宿泊や食事をしていただくなど、市内経済への貢献をお願いした上で、可能な限り受け入れています。

今回は、直近2年間の受入れ実績が多かった富士市新環境クリーンセンター、ユニバーサル就労推進事業、新富士駅シェアオフィス、防災アプリ「防災ふじ」、A I オンデマンド交通の5つの取組について御紹介します！



新環境クリーンセンター

令和2年10月に供用を開始した新環境クリーンセンターは、「安全と安心を約束する資源循環パーク」を基本理念としたごみ処理施設です。

工場棟のごみの焼却や破砕、資源回収棟のごみの受入れに加え、循環啓発棟では、楽しみながら3Rや環境を学んだり、工場棟でつくられた熱を利用したお風呂で疲れを癒したりすることができます。



▲新環境クリーンセンターの工場棟



▲フィランセ東館

ユニバーサル就労推進事業

ユニバーサル就労は、働きたくても働きづらさを抱えた全ての市民が仕事に就き、生きがい、働きがいを感じられる社会をつくる取組です。

富士市は全国で初めてユニバーサル就労の推進に関する条例を制定し、平成29年4月に施行しました。同月、富士市ユニバーサル就労支援センターがフィランセ東館1階に開設され、就労支援員が企業と就労希望者のマッチングを行い、就労に向けたオーダーメイドの支援をしています。

防災アプリ「防災ふじ」

令和5年11月に富士市がリリースしたスマートフォン用アプリ「防災ふじ」には、防災情報等の受信、ハザードマップの確認といった、防災に役立つ機能を搭載しています。

また、近年の災害では、一人で避難することが難しい避難行動要支援者が多く犠牲になっていることから、避難情報が発令された際に、避難行動要支援者（アプリ登録者）の方が周辺にいる支援者に対して、アプリ上で避難の支援要請を行える「防災ヘルプ機能」を、全国で初めて搭載しました。



新富士駅シェアオフィス

アスティ新富士内にある新富士駅シェアオフィス「WORK新富士」では、富士市へ進出を考えている企業やビジネスパーソンが、新富士駅直結の施設をシェアオフィスとして活用できます。

オンライン会議ができる完全個室や、4人でミーティングができるスペース、富士ヒノキの香りを楽しみながら仕事ができるフリースペースがあります。

A I オンデマンド交通

A I オンデマンド交通「のるーとふじ」は、予約状況に応じて、A I が適切な運行ルートを考える予約制の乗合バスです。時刻表や決まった運行ルートがないため、フレキシブルな運行が可能となっています。

現在は、伝法地区・吉原地区・富士北地区の一部で運行されています。



令和5年度・令和6年度 県別受入れ実績

